



香港・胡文虎花園前

# 女性の翼

女性の海外視察研修（女性の翼）が、10月13日から16日まで27人が参加して行われ、香港・中国を視察しました。  
 香港では青年訓練施設や本場のグルメ料理を楽しむ中国ではめざましい開発が進んでいる経済特別区の深圳を視察、異国の文化、歴史、生活に触れ視野を広め和気あいあいのなかすばらしい研修となりました。

## 一番輝いていた女性…

青年訓練施設園長に心から拍手を 園長 越川いつ子（作間内）

女性の海外視察研修に参加させていただき、私にとって初めての海外旅行をして参りました。  
 町や、大勢の人のお世話になり、全員無事故で帰国出来ました事を、感謝しております。  
 香港に降り立って、まず驚いたのは、高層ビルのジャングルと、観光客の多さでした。  
 ショルターバックをけさ掛けにし、前にかかえて身構えました。見学した胡文虎花園、レパレスベイは、ビクトリアピークから見える西洋風の建物とは一変して、極彩色の中国調でした。町並みのビルとの不思議なミスマッチも、香港の魅力なのでしょう。  
 狭い土地にぎっしりと高層の古びたアパートが建ち

並ぶ、その中に人々は、どんな生活を送っているのだろうか、男性と対等に働きワランルームに家族中暮し、メイドを雇い家事をあまりしないという女性たちは、きっとこの国の経済、貿易



観光をささえている事だろう。そういう女性が知りたくて、街を行く人、店員、ウェイトレス、トイレ、ホテルで働く人を見て来ましたが、けっこう不愛想で損得をすぐに顔に出し、スタルはいいという印象でした。「農作業をしている人は」

とガイド氏に聞きましたら、農地がないのでほとんど中国から輸入するとの事で、残念でした。  
 働く女性の中で、一番輝いていたのは、二日目に見学した松嶺村青年訓練中心の園長さんでした。四百人ももの孤児や知恵遅れの若者に焼き物、機械、レジの使い方等を訓練する施設を政府の援助は受けずに経営しているとの事、30才位の美人園長さんに、心から拍手を送りました。  
 香港といえばグルメと言われる様に、中国五大料理、広東、北京、上海、四川、潮州と飲茶をいただく事が出来ました。中でも人口の8割以上が広東人という事で、広東料理が代表格の様ですが、皆それぞれに特長があり連日の中国料理でも

食べられました。小皿の調味料をそのまま味見してみました。辛い塩辛い、独特の香を持つ甘味噌等に、広い中国の各地方の味が秘められている様に思いました。  
 来年の6月30日に、50年以上続いたイギリス植民地時代を終えて、中国に返還される不安をガイド氏は話しておりました。めざましく開発が進んでいる深圳と共に、経済特別区としてやってゆけるとの見方もある様です。  
 中国人の国、香港が中国に還る事は、又一味ちがった香港の姿を創ってゆく事でしょう。

## コース

- 1日目 香港市内観光
- 2日目 青少年訓練施設視察
- 3日目 中国（深圳）視察
- 4日目 市内観光・自由行動



香港水上レストランの夜景

